

# 校長室から アッサラームアレイコム！

No.10 H26.12.17  
文責 井手



2学期終業式！

## ■教育講演会と公開授業研究発表会

12月10日(水)15:00より「日本型教育の再構築と活用」という題目で、文部科学省初等中等教育局視学官、杉田 洋 氏による講演会を開催できました。保護者の方々や日本人会の方々、教職員、総勢40名ほどの参加でしたが、映像や写真を交えて、巧みな語りで杉田先生のご経験や日本の教育の良さ、教育観を保護者へ、そして教職員へ向け述べられました。参加したお母さん方もその話しに引き込まれ、涙する場面も多かったです。私も自分の教え子のことを思いだし、目が潤んでしまいました。講演後保護者の皆様の満足した顔を拝見し、また、「とても感動しました。」とのお言葉を聞いて、急ではありましたが、開催して良かったと思いました。参加していただきました皆様に心からお礼申し上げます。

12月11日(木)の12:55からは予定通り「公開授業研究発表会」を開催いたしました。前にもお知らせいたしましたが、この研究発表会は再開校5年を過ぎ、6年目に入ったのを機に、これまでの研究の成果を広く公開し、多くの方々より指導助言を得ること。教職員の指導力アップにつながる機会とし、今後の校内研究の充実につなげ、児童生徒の学力向上を図ることを目的として開催いたしました。また、日本の教育への関心が強い現地教育関係者の参加も目的としました。

保護者の皆様には誠に申し訳なかったのですが、オリエンテーション及び授業参観だけのご参会になりました。

公開授業後の全体会の研究協議会等には、指導講師をお願いしていました東京学芸大学特命教授 高橋昭彦氏、文部科学省の杉田 洋 視学官と2名の方々、全国海外子女教育研究協議会の 滝 多賀雄 会長が来校されました。また、カタール大学、カタール教育省、カタール国の現地校教職員合わせて50名以上の参加があり、研究主任からの、本校この5年間と本年度の研究の取組の発表を熱心に聞いていただきました。さらに公開授業を行った3名の先生方には、日本の授業の進め方や工夫、カリキュラムについて多くの質問がありました。最後に高橋先生より、まとめの講評があり、杉田視学官、滝会長よりお言葉を頂き、紺谷理事長の謝辞で終了することができました。特命全権大使 津田様をはじめ多くの来賓の元、盛会に執り行うことができました。心から感謝申し上げます。

今後この研究発表会の検証をもとに、さらに子どもたちの学力向上のために努力していきたいと思っております。今後ともご支援、ご協力よろしくお願いたします。

- 今学期も、皆様には多くのご支援、ご協力をいただき、無事終業式を迎えることができました。ありがとうございました。全職員、新たな気持ちで3学期を迎えたいと思っております

### 【校長のひとり言】

「教師は感動と喜びのある教育を求め、授業の工夫改善に努める。」